

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	43	一人一人の想いの把握	利用者個々の想いや生活習慣を把握し、生活の中で実践できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者個々の好みや想いを日常生活の中やご本人の聴き取りから把握する。</li> <li>把握した想いをアセスメントシートに記入し、情報を共有できるようにする。</li> <li>想いを生活の中で実施できるように、介護計画を立案する。</li> <li>自身で表出できない方は、ご家族と相談し、今までの好みや習慣を把握して実施できるようにする。</li> </ul>	12か月	
2	2	利用者一人一人の尊重	職員の接遇が向上し、利用者が安心して生活できる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の利用者への対応や言葉がけについて、振り返る会議を定期的に行い、改善について話し合いを行う。</li> <li>利用者への対応を統一したものとす為、接遇手順の決まりをつくる。</li> <li>実際に決まった手順での接遇で変化があったことを話し合う。</li> </ul>	12 か月	
3	3	海岸に面している為、災害対策の徹底が必要	災害時における対策の周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の避難訓練にて、津波対策、地震対策、火災対策の訓練を順番に行い、全職員がどの災害時でも慌てず対応が行えるように練習する。</li> <li>避難の訓練だけでなく、防災班の活動に準じた訓練を交互に行えるようにする。</li> <li>災害時の非常食や緊急袋などの物品の確保を少しずつ行い、非常時でもご利用者が困らないように対策する。</li> </ul>	12 か月	
5		地域との交流を増やす	地域の方々との関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小学校との交流を継続し、お互いの行事の参加にて交流を行う。</li> <li>自治防災訓練などにもご利用者と参加し、地域の方との交流を図る。</li> <li>地域のお店への外出を継続し、お店の方、地域の方との交流の機会を設ける。</li> <li>地域行事への参加(海岸清掃、夏祭り等)を継続し、地域の方との交流を増やす。</li> </ul>	12 か月	

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( 該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他( )
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他( )